

資料4

新潟地総第1197号
令和7年11月18日

秋葉区自治協議会
会長 渡邊 彩 様

新潟市長 中原 八一
(担当 秋葉区役所地域総務課)

秋葉区特色ある区づくり事業の区役所企画事業案について（意見聴取）

新潟市区自治協議会条例（平成18年条例第74号）第7条第1項第3号の規定により、下記事項について貴自治協議会の意見を求めます。

記

1 令和8年度 秋葉区特色ある区づくり事業の区役所企画事業案について

令和 8 年度 秋葉区特色ある区づくり事業 区役所企画事業（案）一覧

区ビジョン						
No	事業名（下段は事業目的）	区分	参考:R7	R8	前年度比	担当所属
I 環境に配慮した潤いとやすらぎのあるまち						
1	秋葉区の花と緑にふれあい隊	継続	6,000	6,000	0	建設課
	区の特徴である花と緑に親しむ環境整備や保全活動を区民協働で行うことで、「環境に配慮した潤いとやすらぎのあるまち」「やさしさがあふれる楽しく元気なまち」の実現を推進する。					
II やさしさがあふれる楽しく元気なまち						
2	こども・若者公共交通乗車促進	継続	1,100	770	△ 330	地域総務課
	区内を運行するバスの学生の運賃割引社会実験を実施し、ルートや運行時間などのニーズの把握や、乗車体験から継続した利用につなげることにより、公共交通の利用促進を図る。					
III 歴史と個性を活かすまち						
3	アキハの宝こども探検ツアー	継続	200	180	△ 20	新津地区公民館
	秋葉区独自の宝（個性）を地域や団体と連携し、こどもたちの発見、体験の場として活用することにより、こどもたちのふるさとへの愛着と誇りを醸成する。					
	アキハ「鉄道物語」	継続	4,850	5,480	630	産業振興課
	関係団体と連携し鉄道に関連する地域資源を活用した魅力の発信やまちづくりに取り組むことで、「鉄道の街」への愛着と誇りを育むとともに、交流人口の拡大によるまちなかの活性化を図る。					
	アキハ石油文化学習	継続	870	790	△ 80	地域総務課
5	秋葉区の代表的な遺産である国指定史跡「新津油田金津鉱場跡」を中心とした石油産業遺産群など日本の産業を担ってきた歴史や文化に対する理解を深めてもらい、広く石油文化の継承と啓発を行い、区の魅力を発信していく。					
IV 可能性を生み出し・育て・活かすまち						
6	アキハスマプロジェクト Vol. 3	継続	5,800	6,430	630	地域総務課
	地域主体によるまちづくりを推進するため、秋葉区の特性・魅力をブランド化し発信することによるシビックプライドの醸成を図るとともに、移住のための仕組みづくりに取り組む。					
	アキハ人財育成	継続	1,600	1,300	△ 300	地域総務課
	活力あふれ持続可能なまちづくりを推進するため、地域コミュニティの強化及びシビックプライドの醸成を目指し、秋葉区の特性と魅力を理解し発信できる人材や地域活動したいと思う人材の育成に取り組む。					
	アキハ大麦・小麦・もち麦推進	継続	1,550	1,350	△ 200	産業振興課
	稼げる農業の実現に向けて、国産の需要が見込まれる麦類（大麦・小麦・もち麦）への作付け転換を促進する取り組みを生産者や関係団体と連携して行い、水田フル活用による収益の確保を図る。					
	花まる鉢花支援	継続	900	800	△ 100	産業振興課
	生産者並びに関係団体と連携した秋葉区産鉢花の宣伝PRや、地域住民を対象とした園芸体験会の開催により、区内外双方に向けた「花のまち」の認知度を上げるとともに、鉢花商談会の地元開催など販路拡大の取り組みを通じた花き・花木産業の振興を図る。					
	合 計			23,100		

令和 8 年度 区役所企画事業検討調書

1				
検討結果	継 続	事業開始年度	令和 5 年度から	秋葉区建設課
事業名	秋葉区の花と緑にふれあい隊			
区ビジョン	I 環境に配慮した潤いとやすらぎのある まち (2)人と自然が調和した美しい景観の保全			
事業の取組み	区民と協働による取り組み			
事業目的	区の特徴である花と緑に親しむ環境整備や保全活動を区民協働で行うことで、「環境に配慮した潤いとやすらぎのあるまち」「やさしさがあふれる楽しく元気なまち」の実現を推進する。			
事業概要	<p>遊歩道歩いてみ隊（R2～R4年度）での取り組みを拡充し、新津川・秋葉公園クリーン作戦の開催や国道403号フラワーロード事業の実施、関連施設の整備など、区の特色である花と緑に親しむ環境整備や保全活動を区民協働で行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○区民協働での緑化保全の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・市民協働クリーン作戦の実施（新津川・秋葉公園） ・環境整備促進のための機材貸与 ・国道403号フラワーロード実行委員会と協働したフラワーロード事業の実施 ・クヤクショソーシング（秋葉公園花植え、Xmasリース） ○施設の整備・保全 <ul style="list-style-type: none"> ・案内サインの更新や駐車場整備による利便性向上 ・老朽化施設の修繕や支障木伐採による安全性確保 			
最終 成果指標 目標	クリーン作戦・遊歩道環境整備等の区民参加者数 1,700人+600人=2,300人 (R8)			

R6 年度				
成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・新津川遊歩道クリーン作戦 300人 ・秋葉公園クリーン作戦 50人 ・地域活動団体への草刈機の貸し出し 200人 ・フラワーロード種まき作業 50人 ・案内サイン等施設の修繕、支障木の伐採 他 			
事業内容 及び 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ・新津川遊歩道クリーン作戦 300人 ・地域活動団体への草刈機の貸し出し 186人 ・新津川水仙球根植え 60人 ・秋葉公園クリーン作戦 81人 ・フラワーロード種まき作業 67人 ・木橋、階段修繕 累計 694人 			
事業費	予算額	6,500 千円	決算額	6,409 千円

事業名	秋葉区の花と緑にふれあい隊
-----	---------------

R7 年度		
成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> 新津川遊歩道クリーン作戦 300人 秋葉公園クリーン作戦 50人 地域活動団体への草刈機の貸し出し 200人 フラワーロード種まき作業 50人 案内サイン等施設の修繕、支障木の伐採 他 	
事業内容 9月時点の 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 新津川遊歩道クリーン作戦 11月3日開催予定 地域活動団体への草刈機の貸し出し 133人 新津川水仙球根植え 11月3日開催予定 秋葉公園クリーン作戦 11月15日開催予定 フラワーロード種まき作業 累計 77人 木橋、階段修繕 一人 	
課題	<p>クリーン作戦等の環境整備活動に多くの方から参加・協力いただいているが、参加者の高齢化や固定化が進み、活動参加が難しくなってきているとの声が出始めている。</p> <p>区民協働での活動を持続的なものとし、花と緑に親しめる区の魅力ある環境を次世代に引き継いでいくためには、次の担い手となる子育て世代や学生・若者など将来世代からの活動参加が課題となっている。</p>	
事業費	予算額 6,000 千円	

R8 年度		
成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> 新津川遊歩道クリーン作戦 300人 秋葉公園クリーン作戦 50人 地域活動団体への草刈機の貸し出し 200人 フラワーロード種まき作業 50人 案内サイン等施設の修繕、支障木の伐採 他 	
事業内容 及び 実施計画	<ul style="list-style-type: none"> ○区民協働での緑花保全の促進 <ul style="list-style-type: none"> ・市民協働クリーン作戦の実施（新津川・秋葉公園） ・環境整備促進のための機材貸与 ・実行委員会と協働したフラワーロード事業の実施 ・クヤクショソーシング（秋葉公園花植え、Xmasリース） ○施設の整備・保全 <ul style="list-style-type: none"> ・案内サインの更新や老朽化した施設の修繕など利便性の向上 	
事業費	予算額 6,000 千円	

令和 8 年度 区役所企画事業検討調書

2							
検討結果	継 続	事業開始年度	令和 6 年度から		秋葉区地域総務課		
事業名	こども・若者公共交通乗車促進						
区ビジョン	Ⅱ やさしさがあふれる楽しく元気な まち (5) 交通網の整備と持続可能な地域公共交通の確保						
事業の取組み	区独自の課題解決に向けた取り組み						
事業目的	区内を運行するバスの学生の運賃割引社会実験を実施し、ルートや運行時間などのニーズの把握や、乗車体験から継続した利用につなげることにより、公共交通の利用促進を図る。						
事業概要	①対象となるバス：秋葉区内を走行する区バス、金津線、下新線の3路線 ②対象者：区内在住・在勤・在学の小学生・中学生・高校生・大学生・フリースクール生等。学生証を持っている者。 ③割引内容：対象者が区内で対象となるバスに乗降した際、運賃割引をする。バスを降りる際に、学生証を見せることで中学生以上の学生は100円、小学生は、小学生であることを申告することで50円で乗車可能とする。 ④実施期間：予算に達したら終了 ⑤周知：PRはバス車内に社会実験実施中の表示をする。区内の中学校、高等学校へ周知を行う。						
最終 成果指標 目標	年間乗車人数前年比 10%増						

R6 年度																																																																								
成果指標 目標	年間の乗車人数前年比 10%増																																																																							
事業内容 及び 実施状況	【令和6年度実績（学生乗車人数）】 ・区バス：1,172人 ・金津線：786人 ・下新線：1,619人 ・合計：3,577人																																																																							
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>R6利用人数</th><th>R6.6</th><th>R6.7</th><th>R6.8</th><th>R6.9</th><th>R6.10</th><th>R6.11</th><th>R6.12</th><th>R7.1</th><th>R7.2</th><th>R7.3</th><th>合計</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>区バス</td><td>107</td><td>103</td><td>88</td><td>99</td><td>121</td><td>127</td><td>135</td><td>140</td><td>95</td><td>157</td><td>1,172</td></tr> <tr> <td>金津線</td><td>100</td><td>68</td><td>45</td><td>98</td><td>102</td><td>89</td><td>71</td><td>85</td><td>82</td><td>46</td><td>786</td></tr> <tr> <td>下新線</td><td>128</td><td>126</td><td>84</td><td>169</td><td>163</td><td>155</td><td>227</td><td>282</td><td>213</td><td>72</td><td>1,619</td></tr> <tr> <td>合計</td><td>335</td><td>297</td><td>217</td><td>366</td><td>386</td><td>371</td><td>433</td><td>507</td><td>390</td><td>275</td><td>3,577</td></tr> </tbody> </table>												R6利用人数	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9	R6.10	R6.11	R6.12	R7.1	R7.2	R7.3	合計	区バス	107	103	88	99	121	127	135	140	95	157	1,172	金津線	100	68	45	98	102	89	71	85	82	46	786	下新線	128	126	84	169	163	155	227	282	213	72	1,619	合計	335	297	217	366	386	371	433	507	390	275	3,577
R6利用人数	R6.6	R6.7	R6.8	R6.9	R6.10	R6.11	R6.12	R7.1	R7.2	R7.3	合計																																																													
区バス	107	103	88	99	121	127	135	140	95	157	1,172																																																													
金津線	100	68	45	98	102	89	71	85	82	46	786																																																													
下新線	128	126	84	169	163	155	227	282	213	72	1,619																																																													
合計	335	297	217	366	386	371	433	507	390	275	3,577																																																													
事業費	予算額	1,000 千円			決算額	556 千円																																																																		

事業名	こども・若者公共交通乗車促進
-----	----------------

R7 年度																					
成果指標 目標	年間の全体乗車人数前年比 10%増																				
事業内容 9月時点の 実施状況	<p>【R7年度実績（学生乗車人数）】</p> <p>◆R7.4～R7.8実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・区バス：152人/月 ・金津線：104人/月 ・下新線：169人/月 ・合計：425人/月 <p>◆前年度との比較</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R6(6月-8月平均)</th> <th>R7(6月-8月平均)</th> <th>増減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>区バス</td> <td>99人/月</td> <td>158人/月</td> <td>159.6%</td> </tr> <tr> <td>金津線</td> <td>71人/月</td> <td>98人/月</td> <td>138.0%</td> </tr> <tr> <td>下新線</td> <td>113人/月</td> <td>179人/月</td> <td>158.4%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>283人/月</td> <td>435人/月</td> <td>153.7%</td> </tr> </tbody> </table> <p>・成果目標としていた前年度比10%増を大幅に上回り、こども・若者のバス乗車促進につながっている。</p>		R6(6月-8月平均)	R7(6月-8月平均)	増減	区バス	99人/月	158人/月	159.6%	金津線	71人/月	98人/月	138.0%	下新線	113人/月	179人/月	158.4%	合計	283人/月	435人/月	153.7%
	R6(6月-8月平均)	R7(6月-8月平均)	増減																		
区バス	99人/月	158人/月	159.6%																		
金津線	71人/月	98人/月	138.0%																		
下新線	113人/月	179人/月	158.4%																		
合計	283人/月	435人/月	153.7%																		
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの実施等により、学生が継続して乗車するような仕組みづくりを進める。 ・本事業は社会実験という位置づけであるため、今後の事業の展開について、検討が必要。 																				
事業費	予算額 1,100 千円																				

R8 年度	
成果指標 目標	年間の全体乗車人数前年比 10%増
事業内容 及び 実施計画	<p>①対象となるバス：秋葉区内を走行する区バス、金津線、下新線の3路線</p> <p>②対象者：区内在住・在勤・在学の小学生・中学生・高校生・大学生・フリースクール生等。学生証を持っている者。</p> <p>③割引内容：対象者が区内で対象となるバスに乗降した際、運賃割引をする。バスを降りる際に、学生証を見せることで中学生以上の学生は100円、小学生は、小学生であることを申告することで50円で乗車可能とする。</p> <p>④実施期間：予算に達したら終了</p> <p>⑤周知：PRIはバス車内に社会実験実施中の表示をする。区内の中学校、高等学校へ周知を行う。</p>
事業費	予算額 770 千円

令和 8 年度 区役所企画事業検討調書

3				
検討結果	継 続	事業開始年度	令和 2 年度から	新津地区公民館
事業名	アキハの宝こども探検ツアー			
区ビジョン	Ⅲ 歴史と個性を活かす まち (3) 文化の継承と創造による文化活動の振興			
事業の取組み	区の伝統・文化など区が持つ魅力や特性を活かした取り組み			
事業目的	秋葉区独自の宝（個性）を地域や団体と連携し、こどもたちの発見、体験の場として活用することにより、こどもたちのふるさとへの愛着と誇りを醸成する。			
事業概要	<p>◆対象 小学生を対象</p> <p>◆内容 「チャレンジ！あきは体験隊」 ※地域と連携して歴史や文化を体験 各地区的施設見学、まち歩き体験など 「あきはっ子里山体験隊」 ※里山を舞台に自然・歴史・文化を体験 自然観察、古代生活体験、産業遺産の見学など 「秋葉教育懇談会」 区内教育関係者等を対象に、区の個性を活かしたこどもの教育環境について、外部講師を交え、意見交換を行う。 ※ 令和4・5年度は「アキハスマプロジェクトvol.3」で、令和6年度からは「アキハ人財育成」で実施。</p>			
最終 成果指標	<p>◆達成指標 年1回以上開催</p> <p>◆目標 地域コミ協等と協働し、こどもたちが地域の個性について学習する機会を充実させる。</p>			

R6 年度				
成果指標 目標	<p>◆達成指標 「チャレンジ！あきは体験隊」「あきはっ子里山体験隊」を一本化し、年1回開催</p> <p>◆目標 地域コミ協等と協働し、こどもたちが地域の個性について学習する機会を充実させる。</p>			
事業内容 及び 実施状況	<p>【発見！そーだったのか 秋葉区の気候】</p> <ul style="list-style-type: none"> 7/20（土）9:30～11:45 小合地区コミュニティセンターで、ペットボトルで雲を作るといった実験を交えながら、夏暑く冬は雪が多い秋葉区の気候の特性を気象予報士から学んだ。 参加者小学3～6年生 29名（ほかに薬科大学生ボランティア8名、スタッフ等7名） 			
事業費	予算額	100 千円	決算額	87 千円

事業名	アキハの宝こども探検ツアー
-----	---------------

R7 年度	
成果指標 目標	<p>◆達成指標 年2回開催</p> <p>◆目標 地域コミ協等と協働し、こどもたちが地域の個性について学習する機会を充実させる。</p>
事業内容 9月時点の 実施状況	<p>【発見！そーだったのか！秋葉区の天気】 ・7/21(月・祝)13:30～15:30 ・新潟薬科大新津キャンパスで秋葉区の天気を学ぶ。 ・小学3～6年生 24名 (ほかに薬科大学生ボランティア7名、スタッフ等9名)</p> <p>【ナイトミュージアム～夜の鉄道資料館へ行ってみよう！～】 ・8/23(土)18:30～20:40 ・新津鉄道資料館の夜間見学、8ミリ上映会 ・小学4～6年生・保護者 22名 (ほかにスタッフ等9名)</p>
課題	<p>・昨年度に引き続き、応募も多く参加者の満足度も高かった。今後もそのニーズにこたえ、秋葉区独自の宝（個性）を活用し、その魅力を秋葉区のこどもたちへ伝えていく必要がある。</p> <p>・また、今年度は取り上げるテーマだけでなく、新潟薬科大や鉄道資料館と連携するとともに、気象予報士であるエフエム新津の小川亜希子パーソナリティーに講師をしていただくなど、秋葉区ならではの宝を活用することができた。</p>
事業費	予算額 200 千円

R8 年度	
成果指標 目標	<p>◆達成指標 年2回開催</p> <p>◆目標 地域コミ協等との協働による、こどもたちの地域の歴史・文化・自然等を学ぶ学習機会の充実</p>
事業内容 及び 実施計画	<p>・地域や学校・他の社会教育施設等と連携して、区内の特色ある歴史・文化・自然等を体験（施設見学、まち歩き体験、自然観察など）。テーマ・内容は検討中</p>
事業費	予算額 180 千円

令和 8 年度 区役所企画事業検討調書

4	検討結果	継 続	事業開始年度	令和 3 年度から	秋葉区産業振興課
事業名	アキハ「鉄道物語」				
区ビジョン	Ⅲ 歴史と個性を活かす まち (2) 個性を活かした交流のあるまちづくり				
事業の取組み	区の伝統・文化など区が持つ魅力や特性を活かした取り組み				
事業目的	関係団体と連携し鉄道に関連する地域資源を活用した魅力の発信やまちづくりに取り組むことで、「鉄道の街」への愛着と誇りを育むとともに、交流人口の拡大によるまちなかの活性化を図る。				
事業概要	1 あ！キハ観光案内所運営業務 2 東日本旅客鉄道株式会社（JR東日本）新潟支社との連携事業（鉄道フェスタなど） 3 「にいつ鉄道商店街への活動支援 4 磐越西線沿線自治体等との連携				
最終 成果指標 目標	鉄道イベント来街者 3,000人 (鉄道商店街 300人、資料館共催1,000人、JR東日本連携1,700人) 観光案内所来所者数 8,000人 (R03～R04) 、10,000人 (R05～)				

R6 年度	
成果指標 目標	《目標》鉄道イベント来街者 3,000人 (鉄道商店街300人、資料館共催1,000人、JR東日本連携1,700人：臨時列車「マッチング・トレイン」参加者を含む) 観光案内所来所者数 10,000人
事業内容 及び 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> にいつ鉄道商店街によるSL発車時ホームでの物販を34回実施 「SLばんえつ物語」の運行25周年記念イベントとお見送りを4月29日（祝）に実施 にいつまるごと鉄道フェスタを10月12日（土）に開催（11,135人の来場） 阿賀野川ライン観光協会、磐越西線SL定期運行推進協議会と連携し、イベント出店PR共有、お見送り等を実施し、沿線の魅力を連携して発信 観光案内所の来所者数はSL運行日の開所時間を工夫するなどして20,152人となり、昨年度（12,528人）と比較し60%以上増加 レンタサイクルの貸し出し数は1,113台※熱中症アラート発令時に貸し出し中止しているが微増 にいつ鉄道商店街と協働で、さいたま市の「大宮ふれあい鉄道フェア」に11月23日（土）ブース出展（秋葉区観光パンフレット、新津鉄道資料館パンフレット、各900部配布） 移住定住・観光振興・地域経済活性化を踏まえたマッチング列車「ほろ酔い恋活トレイン」企画運行（男14名／女15名、マッチング5組） イベントごとに記念のショップカードを限定500枚作製（25周年にいつまるごと鉄道フェスタで実施） 秋葉区観光マップ 20,000部増刷
事業費	予算額 4,650 千円 決算額 4,401 千円

事業名	アキハ「鉄道物語」
-----	-----------

R7 年度	
成果指標 目標	《目標》鉄道イベント来街者 3,000人 (鉄道商店街300人、資料館共催1,000人、JR東日本連携1,700人) 観光案内所来所者数 10,000人
事業内容 9月時点の 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> にいつ鉄道商店街によるSL発車時ホームでの物販を27回実施 (8月末現在) 「SLばんえつ物語」の乗車100万人記念出発式 (9月13日 (土)) や羽越線100周年リゾートしらかみ (7月12日 (土)、13日 (日)) のお見送り (お出迎え) を実施 にいつまるごと鉄道フェスタを10月11日 (土) に開催予定 阿賀野川ライン観光協会とイベント出店などPR共有、磐越西線SL定期運行推進協議会と連携し お見送り等を実施し、沿線の魅力を連携して発信 観光案内所の来所者数は8,537人 (8月末現在) にいつ鉄道商店街と協働で、さいたま市の「大宮ふれあい鉄道フェア」に11月22日 (土) ブース出展予定 移住定住・観光振興・地域経済活性化、区内商品のPRのため、東京農業大学「農大グランド マルシェ」9月27日 (土)、28日 (日)、明大前商店街 (11月) への出店を予定 イベントごとに記念のショップカードを限定500枚作製 (100万人記念出発式とにいつまるごと 鉄道フェスタで実施)
課題	<ul style="list-style-type: none"> 首都圏で「鉄道の街にいつ」の認知度が低い 「鉄道の街にいつ」が産業・観光等ビジネスへ結びついていない <p>※どちらもネガティブ要素ではなく、一層の努力で大きな市場が開けると捉えている</p>
事業費	予算額 4,850 千円

R8 年度	
成果指標 目標	《目標》鉄道イベント来街者 3,000人 (鉄道商店街300人、資料館共催1,000人、JR東日本連携1,700人) 観光案内所来所者数 10,000人
事業内容 及び 実施計画	<ul style="list-style-type: none"> 観光案内所の運営 首都圏へのプロモーション事業 JR東日本、にいつ鉄道商店街、新津観光協会、阿賀野川ライン協会、磐越西線SL定期運行 推進協議会等との連携事業 (にいつまるごと鉄道フェスタ等) 全国鉄道資源活性化サミット開催
事業費	予算額 5,480 千円

令和 8 年度 区役所企画事業検討調書

5

検討結果	継 続	事業開始年度	令和 7 年度から	秋葉区地域総務課
事業名	アキハ石油文化学習			
区ビジョン	Ⅲ 歴史と個性を活かす まち (3) 文化の継承と創造による文化活動の振興			
事業の取組み	区の自然・風土を活かした取り組み			
事業目的	秋葉区の代表的な遺産である国指定史跡「新津油田金津鉱場跡」を中心とした石油産業遺産群など日本の産業を担ってきた歴史や文化に対する理解を深めてもらい、広く石油文化の継承と啓発を行い、区の魅力を発信していく。			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ● 史跡及び石油の世界館を見学希望のある市内小学校に対するガイド活動 区内の小学校に対しては、地域の歴史・文化に触れてもらい、石油文化の継承を図る目的から予算の範囲内で移動に伴うバスの経費を市費で負担 ● 史跡「新津油田金津鉱場跡」案内リーフレットの増刷・配布 ● 石油の世界館友の会と共に石油文化に関する市民向け講演会や各種講座の開催 			
最終 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ● 毎年、市内小学校 8 校以上に対するガイド活動の継続と石油に関する市民講演会など各種講演会を 5 回開催 ● 石油文化の啓発と史跡活用に向けた機運醸成 ● ホームページや S N S での情報発信 			

R 7 年度	
成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ● 市内 8 校以上に対するガイド活動 ● 石油に関する市民講演会（1 回）と各種講演会の開催（4 回）
事業内容 9 月時点の 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ● 小学校 7 校・8 回、中学校 1 校の見学申し込み。2 校実施済み。 ● 市民向け講演会：5 月に「野外見学会」、8 月に「子ども自然教室」を開催。 ● 今後実施予定：10 月「地学ハイキング」、11 月「20 周年記念行事」、2 月「市民講演会」
課題	区内小学校からの見学申し込みが減少したため、周知・P R の方法を検討する。
事業費	予算額 870 千円

事業名	アキハ石油文化学習
-----	-----------

R8 年度	
成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ●市内 8 校以上に対するガイド活動 ●石油に関する市民講演会（1回）と各種講演会の開催（4回）
事業内容 及び 実施計画	<p>【ガイド活動】 区内外の小学校が石油の世界館及び史跡周辺を見学する際に、友の会会員によるガイド活動を行う。ガイドを担当した会員数に応じて講師謝礼と諸経費を支払う。 希望する区内小学校には、学校と見学先との移動に伴うバス経費を市費で負担</p> <p>【市民向け講演会の開催】 石油をはじめとする化石燃料や地学に関する講演会を開催する。</p> <p>【情報発信】 ホームページやSNSを活用した石油文化や歴史のPR</p>
事業費	予算額 790 千円

令和 8 年度 区役所企画事業検討調書

6				
検討結果	継 続	事業開始年度	令和 4 年度から	秋葉区地域総務課
事業名	アキハスマプロジェクトVol.3			
区ビジョン	IV 可能性を生み出し・育て・活かす まち (4)関係人口の拡大と移住促進			
事業の取組み	区独自の課題解決に向けた取り組み			
事業目的	地域主体によるまちづくりを推進するため、秋葉区の特性・魅力をブランド化し発信することによるシビックプライドの醸成を図るとともに、移住のための仕組みづくりに取り組む。			
事業概要	県外の移住希望者へ向けた移住に関する継続的な情報提供と区民の地域への愛着形成を促進する。秋葉区移住コンシェルジュによる移住相談や継続的な秋葉区の情報発信を行う。 【主な事業】 ○秋葉区移住コンシェルジュの運営 ○Webサイト・SNS等を用いた情報発信			
最終 成果指標 目標	○秋葉区移住コンシェルジュの運営・活動の周知及び強化 ○秋葉区の魅力を伝えるコンテンツ及び発信力の強化			
備考	コミュニティスクール基盤整備については、自治協議会委員（金子委員、渡辺委員）提案によるもの			

R6 年度	
成果指標 目標	○秋葉区移住コンシェルジュの運営・活動の周知及び強化 ○秋葉区の魅力を伝えるコンテンツ及び発信力の強化
事業内容 及び 実施状況	○移住相談窓口の開設 ・移住に関する相談対応のため、移住相談窓口を開設し移住コンシェルジュを配置。 ・移住相談件数：11件、その他の相談件数：20件、広報等活動件数：185件 ○プロジェクトフラッグ・大型バナーの掲出 ・統一したイメージでデザインしたアキハスマプロジェクトフラッグを新津駅前商店街・新津本町中央公園へ掲出した。 ・新津駅東西自由通路や秋葉区文化会館・秋葉区総合体育館などへ大型バナーを掲出し、プロジェクトや秋葉区の取組をPRした。 ○人的ネットワークの構築 ・8月：移住体験ツアーをアテンドし、東京農業大学生等と意見交換を行い、区の魅力を発信した。 ・10月：移住コミュニティミーティングを開催し、移住ネットワークの拡充を図った。 ・11月：地域交流センターで東京農業大学成果発表会を行い、関係人口創出について意見交換を行った。 ○移住フェア ・1月：銀座・新潟情報館「THE NIIGATA」での移住+物産フェアを、秋葉区のプレーヤーや移住コンシェルジュと共に開催し、150人超の来場者を迎えて、移住・交流・関係づくりを行った。
事業費	予算額 6,180 千円 決算額 5,771 千円

事業名	アキハスマプロジェクトVol.3
-----	------------------

R7 年度	
成果指標 目標	○秋葉区移住コンシェルジュの運営・活動の周知及び強化 訪問する地域団体数:10 ○秋葉区の魅力を伝えるコンテンツ及び発信力の強化 Web移設後のコンテンツ数 : 20
事業内容 9月時点の 実施状況	【移住コンシェルジュ】 ・移住相談件数: 2件、その他の相談件数: 21件、広報等活動件数 : 116件 ・8月 : 移住体験ツアーをアテンドし、東京農業大学生等と意見交換を行い、区の魅力を発信した。 【秋葉区PR大使】 ・秋葉区の魅力を発信するため、SNS投稿用動画の作成等の業務委託を2件実施。
課題	【移住コンシェルジュ】 ・地域での活動は増えている一方、移住相談件数が伸び悩んでいるため、秋葉区への移住を検討してもらえるような取組、仕掛けが必要。 【秋葉区PR大使】 ・大使の得意分野を活かすため、PRをしてもらうイベントやスポットを精査していく必要がある。
事業費	予算額 5,800 千円

R8 年度	
成果指標 目標	【秋葉区移住コンシェルジュの運営・活動の周知及び強化】 ・移住相談件数 : 15件 ・移住体験ツアー参加者 : 20人 【秋葉区PR大使によるPR活動】 ・月1回以上
事業内容 及び 実施計画	【秋葉区移住コンシェルジュ】 ・SNSを活用した移住相談や首都圏への広報活動を通じて、移住相談件数の増加を目指す。また、移住体験ツアーの実施により、秋葉区への移住を検討する機会を提供する。 【秋葉区PR大使】 ・PR大使の持つ影響力を活かし、イベントの周知から自然や文化といった地域資源等まで発信してもらうことで、区の認知度向上と魅力ある地域づくりにつなげる。
事業費	予算額 6,430 千円

令和 8 年度 区役所企画事業検討調書

7				
検討結果	継 続	事業開始年度	令和 6 年度から	秋葉区地域総務課
事業名	アキハ人財育成			
区ビジョン	IV 可能性を生み出し・育て・活かす まち (4) 関係人口の拡大と移住促進			
事業の取組み	区民との協働を目指した取り組み			
事業目的	活力あふれ持続可能なまちづくりを推進するため、地域コミュニティの強化及びシビックプライドの醸成を目指し、秋葉区の特性と魅力を理解し発信できる人材や地域活動したいと思う人材の育成に取り組む。			
事業概要	<p>秋葉区に興味関心のある方へ向けた様々な情報提供により地域の魅力の発見・理解を促進する。主体的なまちづくり活動に必要なスキル向上の機会を提供し、地域貢献を行う人材の育成や、自らSNS等を活用し秋葉区の魅力を内外に発信することにより地域に対する愛着形成を図る。また、地域が教育に積極的にかかわることで地域課題の解決の学習を通じて、児童・生徒に地域アイデンティティの醸成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○アキハプライドソーシング <ul style="list-style-type: none"> ・各分野で活躍するゲストを招き、参加者とのトークセッション ・情報発信力やイベントの企画立案のスキルアップを支援するワークショップ ○Akiha教育懇談会 <ul style="list-style-type: none"> ・区内教育関係者を対象にした懇談会 			
最終成果指標目標	<ul style="list-style-type: none"> ○秋葉区の特性と魅力を効果的に発信できる人材数の増加 ○まちをよくするために活動したいと思う人の増加 ○地域と学校の協働推進と地域の教育力向上 			

R6 年度				
成果指標目標	<ul style="list-style-type: none"> ○秋葉区の特性と魅力を効果的に発信できる人材数の増加 ○まちをよくするために活動したいと思う人の増加 ○地域と学校の協働推進と地域の教育力向上 			
事業内容及び実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ○プレーヤーズトークフェス（令和7年3月20日開催） <ul style="list-style-type: none"> ・秋葉区で活躍する多彩なプレーヤーが集い、活動や経験を共有する場を提供することで、地域の魅力や可能性を再発見し、新たなアイデアやコラボレーションを生み出す機会を創出した。 ・参加プレーヤー：10組、一般参加者：約35名 ○Akiha教育懇談会（令和6年8月23日開催） <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・スクール基盤整備事業として地域の将来を担うこどもたちを地域全体で育むため、講演会やWSを実施し、地域の人財育成を図った。 ・参加者：127名 			
事業費	予算額	1,300 千円	決算額	617 千円

事業名	アキハ人財育成
-----	---------

R7 年度	
成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ○秋葉区の特性と魅力を効果的に発信できる人材数の増加 <ul style="list-style-type: none"> SNS講座 参加者50人以上 ○まちをよくするために活動したいと思う人の増加 <ul style="list-style-type: none"> AKIHA移住（者）コミュニティMTG、座談会 参加者80人以上 ○地域と学校の協働推進と地域の教育力向上 <ul style="list-style-type: none"> 教育懇談会 参加者120人以上
事業内容 9月時点の 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> ○プレーヤーズトーク（令和7年5月26日、7月30日、9月16日開催） <ul style="list-style-type: none"> ・各回ごとにテーマを設定し、そのテーマに沿ったプレーヤー同士でのトークセッションを実施することで、新たなアイデアを生み出したり、地域の可能性を探る機会を創出した。参加プレーヤー9人。 ○Akiha教育懇談会（令和7年8月7日開催） <ul style="list-style-type: none"> ・区内の中学生及び教育関係者向けに懇談会を開催。参加者156人。
課題	<ul style="list-style-type: none"> ○プレーヤーズトークは、開催しただけで終わるのではなく、参加したプレーヤー同士から新たなプロジェクトや地域を巻き込む動きなどが生まれるよう、さらに踏み込んだ働きかけが必要。 ○中学生を交えた懇談会は、非常に評価が高かった。継続して中学生が参加し、地域の将来を考えてもらえるよう、内容を充実させていく必要がある。
事業費	予算額 1,600 千円

R8 年度	
成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> ○秋葉区の特性と魅力を効果的に発信できる人材数の増加 <ul style="list-style-type: none"> ・プレーヤーズトーク：参加プレーヤー15人以上 ○まちをよくするために活動したいと思う人の増加 <ul style="list-style-type: none"> ・プレーヤーズトークフェス：一般参加者40人以上 ○地域と学校における協働推進のための講演会及びワークショップの実施 <ul style="list-style-type: none"> ・教育懇談会：参加者160人以上、うち中学生35人以上
事業内容 及び 実施計画	<ul style="list-style-type: none"> ○年5回の「プレーヤーズトーク」 <ul style="list-style-type: none"> ・地域を担うプレーヤーをさらに発掘するため、プレーヤーズトークを継続して開催する。開催をきっかけとした新たな取組が行われているかの追跡調査も行う。 ○年1回の「プレーヤーズトークフェス」 <ul style="list-style-type: none"> ・「プレーヤーズトーク」に参加したプレーヤーを集め、地域の住民や企業にプレーヤーの活動等を発信することで、新たなネットワークの構築や地域を巻き込んだプロジェクトの誕生を目指す。 ○年1回の「Akiha教育懇談会」 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の子どもを育てる当事者として、教育関係者の意識を高め、地域の教育力向上を図るとともに、中学生が地域の将来を考える場を提供する。
事業費	予算額 1,300 千円

令和 8 年度 区役所企画事業検討調書

8				
検討結果	継 続	事業開始年度	令和 7 年度から	秋葉区産業振興課
事業名	アキハ大麦・小麦・もち麦推進			
区ビジョン	IV 可能性を生み出し・育て・活かす まち (1) 産業の振興			
事業の取組み	区独自の課題解決に向けた取り組み			
事業目的	稼げる農業の実現に向けて、国産の需要が見込まれる麦類（大麦・小麦・もち麦）への作付け転換を促進する取り組みを生産者や関係団体と連携して行い、水田フル活用による収益の確保を図る。			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 秋葉区産の大麦・小麦・もち麦の広報活動に努める。 大麦・小麦・もち麦の二次加工品の商品開発等を支援する。 麦類の栽培面積拡大に向けた需要の喚起に寄与するため、秋葉区パンまつりを開催する。 学校給食メニューを通じて、秋葉区産小麦の周知に取り組む。 農福連携の取組（ステップファーム）に併せ、大人を対象に農業交流体験・講座を開催する。 			
最終 成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> 麦類（大麦・小麦・もち麦）の栽培面積：40ha（R5播種年27.8ha） 			

R 7 年度	
成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> 麦類（大麦・小麦・もち麦）の栽培面積：32ha
事業内容 9月時点の 実施状況	<ul style="list-style-type: none"> 小学校等の総合学習の中で、大麦・小麦・もち麦を周知している。 「秋葉の里 白雪もち麦」を使用した商品開発等業務において、現在1者を支援中。 農福連携の取組（ステップファーム）に併せ、大人を対象に農業交流体験・講座を開催中。 今後は、学校給食メニューなどパンまつり等により、需要の喚起と栽培面積拡大に努める。また、各種イベント出店PRにより麦類の販売促進、広報宣伝を図る。
課題	麦類の栽培面積は、R3播種年13.5ha、R4播種年18.3ha、R5播種年27.8ha、R6播種年34.8haと増加傾向であったが、R7年産の主食用米の価格（概算金）が大幅に上昇したことで、収支が小麦栽培と逆転したため、生産者へ小麦勉強会の案内をしても反応が薄く、麦類栽培面積の鈍化の恐れがある。
事業費	予算額 1,550 千円

事業名	アキハ大麦・小麦・もち麦推進
-----	----------------

R8 年度	
成果指標 目標	<ul style="list-style-type: none"> 麦類（大麦・小麦・もち麦）の栽培面積：36ha
事業内容 及び 実施計画	<ul style="list-style-type: none"> 秋葉区産の大麦・小麦・もち麦の広報活動に努める。 麦類の栽培面積拡大に向けた需要の喚起に寄与するため、秋葉区パンまつりを開催する。 学校給食メニューを通じて、秋葉区産小麦の周知に取り組む。 もち麦プロジェクトに代わりイベントでPRを支援する。 農福連携の取組（ステップファーム）を開催する。
事業費	予算額 1,350 千円

令和 8 年度 区役所企画事業検討調書

9				
検討結果	継 続	事業開始年度	令和 4 年度から	秋葉区産業振興課
事業名	花まる鉢花支援			
区ビジョン	IV 可能性を生み出し・育て・活かす まち (2) 全国屈指の園芸産地の魅力発信と環境にやさしい安心・安全な農作物の供給			
事業の取組み	区独自の課題解決に向けた取り組み			
事業目的	生産者並びに関係団体と連携した秋葉区産鉢花の宣伝PRにより、「花のまち」の認知度を上げるとともに、鉢花商談会の地元開催やWeb見本市など販路拡大の取り組みを通じた花き・花木産業の振興を図る。			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 新潟市産鉢花の安定流通に向けた流通社会実験（R 4 年度で終了） 新日本海フェリー両ターミナルとあざれあ号での秋葉区産アザレア展示PRや公共施設等における秋葉区産鉢花の展示PR 新潟県花木振興協議会と新潟県花き出荷組合と連携した鉢花見本市の開催支援（R 5 年度より） 			
最終 成果指標 目標	<p>【遠方市場流通量】 ・遠方市場流通量の前年対比と全体流通量の前年対比が比較において遠方の方がプラスになること。</p> <p>【鉢花宣伝PR】 ・フェリーターミナルや公共施設等で秋葉区産鉢花PR。</p> <p>【鉢花見本市】 ・鉢花見本市における出荷金額の向上。（基準年度の出荷金額以上） ※基準年度は令和4年度に実施した見本市での出荷金額とした。 （コロナ禍で令和2、3年度未実施） ・Web見本市の開催</p>			

R6 年度				
成果指標 目標	事業内容 及び 実施状況			
	<p>【鉢花見本市】 ・鉢花見本市における出荷金額の向上。（基準年度（R 4 年度）の出荷金額以上）</p> <p>【鉢花宣伝PR】 ・フェリーターミナルや公共施設等で秋葉区産鉢花PR。</p>			
事業費	予算額	1,220 千円	決算額	898 千円

事業名	花まる鉢花支援
-----	---------

R7 年度	
成果指標 目標	<p>【鉢花見本市】 ・鉢花見本市における出荷金額の向上。（基準年度（R4 年度）の出荷金額以上）</p> <p>【講演会】 ・花き花木に関する講演会の開催。</p> <p>【鉢花宣伝PR】 ・フェリーターミナルや公共施設等で秋葉区産鉢花PR。</p>
事業内容 9月時点の 実施状況	<p>【鉢花見本市】 県内外バイヤーを招いて開催する見本市について、会場装飾などの環境整備を行うとともに、WEBカタログの掲載品数を増やすなどの対応を行った。</p> <p>【講演会】 広く周知するため公民館との共催事業とする方向で調整を進め、講師についても先年黄綬褒章を受章した片岡充氏として年内に実施する方向で調整を行っている。</p> <p>【鉢花宣伝PR】 公共施設やフェリーターミナル及び船内での展示について実施する方向で調整済み。</p>
課題	「花のまち」秋葉区の認知度向上。花き市場全体が縮小傾向にある中で、特に若年層に対してよりアピールが必要。
事業費	900 千円

R8 年度	
成果指標 目標	<p>【講演会】 花き花木に関する講演会の複数回開催。</p> <p>【鉢花宣伝PR】 公共施設等、複数箇所で秋葉区産鉢花の展示PRを実施。</p>
事業内容 及び 実施計画	<p>【講演会】 R7年度に実施した講演会をもとに内容を検討し、若年層や家族向けの講演・講習会を複数回開催する。</p> <p>【鉢花宣伝PR】 新日本海フェリー両ターミナル及び船内（らべんだあ号含む）でのアザレア展示PR、行政施設などにおける秋葉区産鉢花の展示PR。</p>
事業費	予算額 800 千円